

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年

9月

145号



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁
たなか ひでひと

徳人になれ。

自力を出さずして徳人にはなれません。

徳とは信用であり、いかなる立場にあっても信用される人間になるには最小限度十年の歳月が必要である。

もし二年や三年で信用と信頼を求めるのであれば、十年分を短期間でやり抜く努力と人一倍の忍耐力と、群がりよる煩惱に挑戦し、命がけの精進をする以外、他力を求めても得られるものではありません。

すべてを善意に考え、前向きの姿勢で事にぶち当たる心があつてこそ、予期せざる叡智が生じ、自らの行動に活力が生まれ、これが周囲の信用となり、自分の徳となるのである。

(真生53号より)

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁
た なか つね ひと

◇変化の節目に注意

「暑さ寒さも彼岸まで」の諺どおり猛暑と豪雨と蒸し暑さに悩まされた今年の夏も、九月を迎えた途端に朝晩はかなり涼しくなりました。「諸行無常」しよぎようむじようの真理の通り、同じことはいつまでも続きません。常に変化し続けるのが大自らの摂理です。

ウナギでお馴染みの夏の土用は誰でも知っていますが、春夏秋冬の四季の変わり目を「土用」と言います。立春、立夏、立秋、立冬までの二週間が土用の期間です。季節の代わり目に体が付いていけず、体調を崩す人も多いのです。気学では土用の期間中に大木を切り倒したり、大きく土を掘り返したりすると「五黄殺」ごおうさつといって強烈な腐敗作用、自壊作用を受けるとされています。つまり高熱を伴う大病をしたり、人間関係や事業の計画が自滅崩壊しやすいとされるのです。

しかし、季節の変わり目ばかりではなく、人生には様々な節目があります。

結婚、出産、入学、就職、葬儀、相続などが人生を大きく左右する変化の節目です。この大きな変化の時に、烈火のごとく怒ったり、大切な人を恨んだり憎んだり、損得勘定の欲間違いで財を握り罪を作ると、大病や大事故、家庭崩壊、事業の失敗など取り返しつかない大きな不幸を招くことが多いのです。

今解決の難しい問題に直面している方は、自分の人生を振り返り、心当たりがないかよく考えてみましょう。

◇火の車、作る大工はおらねども、己が作りて己が乗りゆく

よく「怒った方が悪いのか、怒らせた方が悪いのか」という人が見えます。どちらも罪作りでしょうが、「怒りは病氣、貧乏、災難のもと」と教えられます。怒った方、恨んだ方が罪を受けるのです。

つまり自分が誤解や錯覚、思い通りにしたいという欲から怒りの炎に包まれた「火の車」を作り出し自分がそれに乗っているのです。そう気付いたら、一刻も早く怒り恨みの炎に包まれた火の車を自分で降りなければ焼け死んでしまいます。世の中にはこんな事が多いのです。

◇蒔いた種は自分で刈り取る

ある日、二十代の若いご夫婦が生後三ヶ月の可愛い女の子を連れて教会に相談に来られました。

「今日はどうされましたか」

「はい、実はこの女の子は私たち夫婦の初めての子供です。元気に生まれて順調に育っていたのですが、右足の様子が少し変だったので、お医者さんに診てもらったら、股関節が脱臼していたのです。その上、レントゲンを撮った結果、『右股関節の受け手の方の骨盤の骨が一部欠損していてすぐ外れてしまうので、夜寝る時以外は当分の間コルセットをしてください』と言われましたが、赤ちゃんが痛がり嫌がって泣き続けるのです。

かわいそうで見えいられませんので、お医者さんに外してはいけないか聞きましたら、骨ができるまで外してはダメだと言われました。欠損した骨がいつ治るのかもわかりません。どうしたらいいのか困ってしまい相談に来ました」

「事情はよく分かりました。夜はコルセットを外してもいいのなら、そんなに嫌がるのであったら、外してあげなさい。小さな子供の病気は親の心得間違いを身をもって教えてくれているのです。

女の人に罪を作ると体の右側に出来ます。そして、足の骨を受ける股関節の親骨である骨盤の一部が十分發育しておらず、足がすぐ外れるということは、あなた方夫婦が母親の心が汲めず心が離れているということですよ。何かの思い違いという種まきが、今日の子供の病氣の原因です。思い当たることはありませんか。」

「私たちは恋愛結婚ですが、妻は一人娘の跡取り娘で、嫁には出れない立場でした。私も長男で跡取り息子ですから、外には出られません。そこで、妻の母に反対されましたが、どうしても結婚するのなら、両家の中間に住んで気軽に行き来できるようにして欲しいと言われ、やむなく中間にアパートを借りることにしました。すると今度は私の母が、父は早くに亡くなっていますので、長男の私を頼りにしており、同居して欲しいと言うのです。

とりあえず、アパートに住むことにしましたが、実はどちらの母にも困っているのです。」

「お釈迦さまは苦の原因は『根本の無明』むみょうであると教えられました。無明とは無知、本当のことを知らないということですよ。あなたたちは双方のお母さん

の本当の心、気持ちが分かっているから罪を作り、子供に結果現象が出たのです。二人のお母さんのあなたたちを思う本当の心が汲めれば、赤ちゃんの足は必ず治ります。

二人の母が無理を言うのではなく、あなた方が無理な結婚をさせてもらったのです。それぞれが跡取り息子跡取り娘と期待して大切に育てて下さったことに心から感謝することです。そして休みの度びに交代交代に親元に足を運び孫の顔を見せて喜ばせてあげること。『お父さんとお母さんの考え間違えであなたに痛い思いをさせてごめんなさいね。心を入れ替えて一生懸命親孝行するからね』と言って毎日我が子の足を妙法を唱えて拝むこと。月に二度の日曜法座にお参りして教えを学び、拝んでもらうこと。これを真剣に続ければきっと良くなります。」

「よくわかりました。心から親の気持ちを汲むようにして先生に教えてもらったように夫婦で実践します」と喜んで帰られました。

言葉通り素直に一生懸命実践され三ヶ月ほどが過ぎ、足も外れないし痛がりもしないので、病院に行ってもう一度レントゲンを撮って診て欲しいとお願い

したら、短期間に何度もレントゲンは取れないと言われていたので、別の病院に連れて行って事情を話し、レントゲン写真を撮ってもらったら、どこにも異常はないとの結果でした。

お医者さんに三ヶ月前のレントゲン写真では骨が欠けていましたが、そんなに早く骨ができるのかと聞きましたら、二ヶ月や三ヶ月でなかった骨ができることは考えられないとのことでしたが、現実の写真にはちゃんと骨が写っていましたと、嬉しい報告がありました。

人間の常識や医学の常識では考えられないこんな不思議なことが世の中にはあるのです。

經典に曰く「一切の業障ごうしょうかい海は皆妄想もちぞうより生ず、もし懺悔ざんげせんと欲せば、端座ざして実相じつそうを思え。衆罪しゅざいは露霧ろうその如し、慧日えにち能く消除しょうじょす」

すべての不幸や災いは、思い込みや考え違いから生じる。反省しようとするならば、心を落ち着けて物事の本当の意味に気付けば、すべての罪は朝露や朝霧が朝日に照らされるとあつという間に無くなるように罪咎つみとがも瞬く間に消え去るのです。これが妙法の教えであり、真実なのです。

今月の運勢（10月）

（2017年10月8日～11月6日）

一 白水星

何事もはやる気持ちを抑えてじっくり腰を据えて待つことが大切な時期。心を虚心にして待つていればいずれチャンスが訪れる。その時は冒険をしても大いに吉となる。

二 黒土星

実行力が強いので、やるべきことをやっていたら望みは大いに叶う。大いに前進し発展する可能性が大きい。正道を踏み外したら、その限りではない。勢いに任せず慎重さも忘れないように。

三 碧木星

攻めるよりは守りを、

前進よりは維持を、昇

るよりは後退を心がければ何事も吉となる。つまり身の程をわきまえて分相応に行動すること。小さな事をするのは良いが、大きなことは控えること。

四 緑木星

家族や同僚と互いに力を合わせるが大切。明かるさを忘れず、仲良くすることが最も大切だが、馴れ馴れしさから些細なことで争いとなり、突然の別れに要注意。

五 黄土星

運気が弱いので先頭に立って大きな活動をするよりは、裏方に回つ

て支えることを心掛けよう。陰徳積めば陽報

あり。人間関係を大切にして先祖供養をしつかりすれば守られる。

六 白金星

何かと行き詰まりを生じ閉塞感があるが、権力や力で強引に押しはいけない。腹をくくって待つ。大きなことは控え、能力を内に秘めて正直さと誠意をもつて小事をコツコツと為すこと。

七 赤金星

キーワードは悦び。何事も先ず自分が悦んで積極的に行動する。そうすれば周囲の人も喜んで思い通りに付き

従ってくれる。有頂天

にならぬよう気の緩みに注意すること。

八 白土星

気の緩みから大崩壊を招くが、気持ちを新たに身辺の大掃除をし、一から慎重にやり直せばいい。辛さを乗り越えて一新すれば、災い転じて福となる。大きな冒険も可。

九 紫火星

走り続けてきた動きを止め、年初めからの成果を振り返り、善かったこと足りなかったことをよく確かめ、年末に向かつての計画を見直そう。エネルギーを蓄え好機に備えよう。

しあわせ眼鏡

河原の何トンもある大きな岩も、
大雨が降って鉄砲水が来れば、
ひっくり返されて流れていく。
ビクともしないような人生の難問
題も、親子、兄弟、夫婦が心を一
つに集中すれば、必ずひっくり返
し動かすことができる。
バラバラではいけない。お互いを
理解し、固い信念と素直な気持ち
で力を合わせることである。

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。